

中 1 英語・数学の時間増加について

上記見出しにつき、2010年度まで2時間30分で行ってきた中1の数学・英語の授業を2011年度9月から30分増やして、午後6時50分から9時50分までの3時間とさせて頂いて来ました。本年度も同様に致したく、ここに御案内させていただきます。

① 時間増加必要の理由

① 高校入試の難化

長年続いてきた「ゆとり教育」からの脱却、学力(特に理・数)の強化という国の教育方針の大きな転換の中にあって、高校入試もまた大きく変わってきています。2017年度入試より、大きな変革が起きました。思考力、判断力、表現力がより重視されるようになり、実際、英語を中心に非常に点が取りにくくなり、また全教科とも高い「読解力」と「思考力」が要求される、レベルの高い問題に変わってきました。中学の教科書が劇的に難化した昨年度から考えれば、公立高校の入試が今後これまでに以上に難化するのには想像に難くありません。来年度、また新たに公立高校入試が制度改革されますが、生徒さんにとっては、より短い期間の中で高いレベルの実力をつける必要がある訳で、一層の負担増は避けられないと思います。

②こういった中で、高校入試の難化のみならず、学校の定期テストもどんどん難しくなって来ています。高校入試の難化を受け、学校の定期テストが今後さらに難しくなって行くことも、容易に予想できます。

私自身も中1の英・数を週1回1年を通して担当させて頂いていますが、中1の後期の英・数2時間30分では限界を感じ、2011年度の後期より3時間授業にした次第です。

実際、今日の各中学校の前期・期末テストの問題は5年前くらいよりお

しなべて難しくなっており、よって、平均点も低いという現状です。(量が
多く、レベルも相当に上がっています。この2年間は、コロナ禍にあって学
校毎・教科毎にバラバラという感じですが。)

そこで、対応策として、中2・3のように英・数の授業を週2回とするの
ではなく、英・数は週1回のままで、時間を30分多くする、という方法を
とった訳です。30分多くするだけで授業の量は当然として、質も相当に上げ
られると確信しています。(今の入試レベルを考えると正直、苦しくはあり
ますが…。)

② ①上記述べました趣旨を御理解頂きまして、早速ですが9月からの午
後6時50分～9時50分までの英・数3時間授業にどうか御賛同・ご協力く
ださいませ、お願い申し上げます。

とにかく、お預りしている生徒さんの実力を伸ばし、「結果」を出して、「自
信」をつけてもらう、そのことに神田塾講師は一丸となって当たらせて頂き
ます。

② 時間増加に伴い、甚だ心苦しいのですが、授業料月20,350円を
22,000円(消費税込み)とさせて頂きたいと存じます。